

授業科目

臨床実習I（関連施設）

担当教員名 東江 由起夫、義肢装具自立支援学科教員全員	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○		○	○	◎

授業の概要

将来の勤務施設，関連職種について理解を深め，専門職像をより明確にするために，関連施設を見学する。

授業の目的

臨床の場で求められる専門職としての基本的な態度を理解し，学内で習得した知識や技術を応用でき，義肢装具士となるための資質を養う。

学習目標

1. 臨床実習I(施設見学)の意義について説明できる。
2. 訪問先で適切な態度，身なりで，コミュニケーションが実践できる。
3. 訪問先で必要項目について記録することができる。
4. 訪問施設の業務内容が説明できる。
5. 専門職の役割や連携、業務内容について説明することができる。
6. 見学実習レポートを作成することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	学内	東江 由起夫
2-6	見学実習I（義肢装具製作施設）	学外(基礎ゼミ担当教員引率)	義肢装具自立支援学科教員全員
7-11	見学実習II（福祉用具レンタル販売施設，高齢者体験）	学外(基礎ゼミ担当教員引率)	義肢装具自立支援学科教員全員
12-16	見学実習III（福祉機器の製造・開発施設）	学外(基礎ゼミ担当教員引率)	義肢装具自立支援学科教員全員
17-21	見学実習IV（医療・福祉施設）	学外(基礎ゼミ担当教員引率)	義肢装具自立支援学科教員全員
22	報告書作成（各見学実習につき1つの報告書を提出）	学内	東江 由起夫
23	まとめ	学内	東江 由起夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	臨床実習Iの手引き					

評価方法

1. 臨床実習報告書（学生が提出するレポート）
 2. 学習態度
- 原則，実習の1/3を欠席した者は，科目評価資格を失うものとする。

履修上の留意点

将来，医療に従事する職業に就くという意識を高めることが目標であるため，学外実習にふさわしい「身なり（髪型，服装など）」と「態度」が実践できない者は参加できない。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡